

イメージ・レタリング - オリジナルの書体をデザインしよう -

概要 (めあて、学びの目標を含む)	○漢字の意味やイメージから発想・構想し、文字の一部を消す、描き加えるなどして新たな書体をデザインする。 ・文字に関心をもち、書体によって与える印象や心理的な影響が変化することを知る。 ・漢字の意味やイメージをより効果的に伝えるための、文字を形づくる線や点(点画)の変化を構想する。 ・構想したイメージを基に、元になる文字から、その一部を消す、描き加えるなどしてデザインする。 ・デザインした文字を互いに鑑賞し、よさや工夫している点について意見交換する。
評価規準	【知】書体を形づくる線や点(点画)の違いによる印象や心理的な効果などを理解している。 【技】意図に応じて工夫し、制作の手順などを考えながら見通しをもって表している。 【発】漢字の意味やイメージを基に主題を生成し、伝達の効果と美しさの調和を考え、表現の構想を練っている。 【鑑】点画のよさや美しさを感じ取り、表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げている。 【態度】文字に興味をもち、さまざまな書体の鑑賞や新たな書体を制作する学習活動に取り組もうとしている。

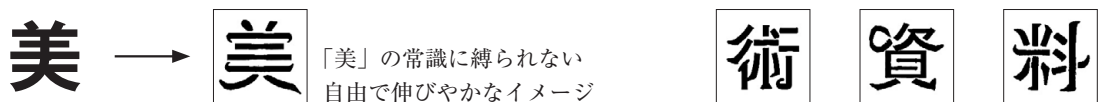
■主な準備物

【生徒】・サインペン、ボールペン、鉛筆(黒色) ・面相筆などの細筆 ・筆洗 ・あれば漢字辞典

【教師】・制作用紙:文字(漢字)を印刷した紙(15~20種類程度 詳細は下記の◆指導のヒントを参照)

・アクリルガッシュ/ポスターカラー(白色、共用)・絵の具を出すパレット(簡易的に牛乳パックなど)

■参考作例



「美」の常識に縛られない
自由に伸びやかなイメージ

■学習の流れ

段階	活動内容	指導者の働きかけ	評価	留意点及び評価方法など
導入 15分	○P.92▶漢字の基本書体とその要素で文字を構成する線や点(点画)の基本を確認する。 ○P.93▶書体のいろいろに見られるさまざまな書体による印象の違いについて知る。	○文字を形づくっている線や点の太さ、形状の違いから、印象やイメージがどのように感じられるかを問いかける。	【態度】	【発言・活動の様子】
展開 55分	○提示された「制作用紙」の文字の中からイメージが膨らみそうな文字を選択する。 ○「制作用紙」の「伝えたいイメージ」欄に伝えたいイメージや、それを表す形の工夫についてメモする。 ○白色を用いて元の点画を消す、黒色を用いて描き足すなどして制作を行う。	○事前準備した、文字(漢字)を印刷した「制作用紙」の全種類を提示する。 ○元になる文字から、どのように形を変化させると、その文字の意味やイメージが伝わるかを考えさせる。 ○元になる文字が全く残らないことがないよう、絵文字にならないように、この題材の趣旨を周知する。	【態度】 【表現】 【知識】	【活動の様子】 【制作中の制作用紙】 【制作中の制作用紙】
まとめ 30分	○制作した作品を並べ相互鑑賞する。 ○他の人の作品を見て、よさや工夫を感じ取る。 ○感じ取ったことについて意見交換する。	○生徒の作品を基に、作品の制作意図や表現の工夫について意見交換させるとともに、文字のデザインの可能性などについて対話させる。	【態度】 【鑑賞】	【活動の様子】 【発言・意見交換の内容】

◆指導のヒント【漢字の例】

制作の元にする文字(漢字)は、中学生がイメージしやすいものを用意する。

喜怒哀楽愛音走跳雨晴曇春
夏秋冬渋甘辛苦暖暑寒騒 など

◆指導のポイント

この題材は、白紙に最初からレタリングするのではなく、既に印刷した文字をベースに、文字の一部を消したり、描き加えたりすることで短時間題材とした。

点画の変化により、豊かにイメージを表すと同時に、元の文字がしっかり伝わるが必要不可欠である。

【制作用紙の例】

美	[伝えたいイメージ] ・伝えたいイメージを表す形の工夫
	組 名前